

令和4年度 白川郷学園 健康教育研究構想

【研究主題】一人一人の学びが加速し、「先を読む力」を発揮する姿を目指して

健康教育部が育てたい「ひとりだち」した人物像

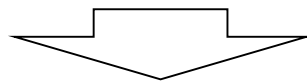
生涯にわたり心身ともに健康に生きるために、健康への理解を深め、健康に良い生活を主体的に選択、判断、行動できる人

研究内容(1) 9年間を見通した「先を読む力」の明確化

前期課程		後期課程
1～2年生	3～6年生	7～9年生
<p>【基本的生活習慣の確立】</p> <p>日常的な経験や自分の生活習慣を振り返り、望ましい生活習慣を知り、健康な生活を送ることができる。</p>	<p>【基本的生活習慣の継続】</p> <p>他者との関わりの中で、自分の健康観を見出し、何をどのように改善したら、より健康な生活を送ることができるか考えて実践できる。</p>	<p>【基本的生活習慣の定着】</p> <p>自己の健康観の実現のために、社会資源を活用しながら、実践と振り返りを繰り返し、健康な生活を自ら作り出すことができる。</p>

研究内容(2) 児童生徒の多面的な実態把握と手立ての明確化

【日常的な実態把握】	【客観的データの活用】
<ul style="list-style-type: none"> 健康調べや健康観察 保健室での会話や様子 給食時間や休み時間などの何気ない会話や様子 	<ul style="list-style-type: none"> 各種アンケート 来室記録 健康診断の結果



実態に適した児童生徒への手立ての明確化

研究内容(3) 一人一人の学びが加速する学習活動の工夫

<p>○学ぶ目的や必然を感じ、見通しをもって課題追究する導入の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県、飛騨地区、白川村などのデータを活用し、児童生徒が「はっ」とする資料を提示することで、一人ひとりに問題意識をもたせ、学習意欲を高める。 「なぜ？ どうして？」、「知りたい！」「どうするとよいのだろう？」など、疑問や興味をもてる導入を工夫し、必然性のある課題を設定する。 	<p>○試行錯誤を生み出す展開の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分もっている健康に関する知識や経験とつなげて考え、課題に対して予想を立てる場を設定する。 世界や日本の実態やデータ等を示すことで、幅広い視野をもって考えることができるようにする。 科学的根拠や数値等を示すことで、「そうか！」「なるほど！」「わかった！」につながる学習展開を工夫する。 	<p>○一人一人が学びを自覚し、自分でできた達成感を得られる終末の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時、学んだことや考えたことを、自分の生活と結び付け、今後どう生かしていくか、どう行動して生きていくか根拠をもとに、具体的に考え、表現する場を設定する。
--	---	--